



## 平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月4日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポイント  
コード番号 2685 URL <http://www.point.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
定時株主総会開催予定日 平成25年5月23日  
有価証券報告書提出予定日 平成25年5月24日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(氏名) 福田 三千男  
(氏名) 新谷 亮  
TEL 03-6895-6011  
配当支払開始予定日 平成25年5月8日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期の連結業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	121,670	5.7	9,717	△21.4	9,951	△20.5	5,508	△18.9
24年2月期	115,058	8.7	12,361	△19.4	12,522	△19.2	6,789	△19.2

(注) 包括利益 25年2月期 6,416百万円 (△5.1%) 24年2月期 6,758百万円 (△19.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年2月期	241.45	—	13.8	15.8	8.0
24年2月期	285.71	—	17.4	20.1	10.7

(参考) 持分法投資損益 25年2月期 一百万円 24年2月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期	63,410	38,598	60.9	1,775.28
24年2月期	62,771	41,191	65.3	1,724.17

(参考) 自己資本 25年2月期 38,598百万円 24年2月期 40,969百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年2月期	11,565	△10,184	△8,430	18,338
24年2月期	8,119	△6,076	△2,850	25,308

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00	2,851	42.0	7.3
25年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00	2,679	49.7	6.9
26年2月期(予想)	—	50.00	—	70.00	120.00		42.8	

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,300	11.1	3,500	△7.0	3,600	△6.4	2,100	△3.2	96.59
通期	134,000	10.1	10,100	3.9	10,300	3.5	6,100	10.7	280.56

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 3社 (社名) Singapore Point Pte.LTD、株式会社トリニティー、株式会社ユニベルシテ、除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期	24,400,000 株	24年2月期	24,400,000 株
② 期末自己株式数	25年2月期	2,657,885 株	24年2月期	637,885 株
③ 期中平均株式数	25年2月期	22,812,391 株	24年2月期	23,762,115 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年2月期の個別業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	115,089	3.2	9,252	△21.0	9,634	△19.8	5,439	△17.0
24年2月期	111,561	8.1	11,710	△19.7	12,006	△19.3	6,553	△18.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期	238.43	—
24年2月期	275.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
25年2月期	59,318		37,370		63.0	1,718.79		
24年2月期	61,032		40,007		65.6	1,683.68		

(参考) 自己資本 25年2月期 37,370百万円 24年2月期 40,007百万円

2. 平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,300	4.0	3,700	2.8	3,800	0.2	2,300	5.2	105.79
通期	120,300	4.5	9,800	5.9	10,000	3.8	6,100	12.2	280.56

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○目 次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	8
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	9
2. 企業集団の状況	10
3. 経営方針	13
(1) 会社の経営の基本方針	13
(2) 目標とする経営指標	13
(3) 中長期的な会社の経営戦略	14
(4) 会社の対処すべき課題	15
4. 連結財務諸表	16
(1) 連結貸借対照表	16
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	18
連結損益計算書	18
連結包括利益計算書	20
(3) 連結株主資本等変動計算書	21
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	24
(5) 継続企業の前提に関する注記	26
(6) 追加情報	26
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	27
(セグメント情報)	27
(1株当たり情報)	29
(重要な後発事象)	30
5. 個別財務諸表	31
(1) 貸借対照表	31
(2) 損益計算書	34
(3) 株主資本等変動計算書	36

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度（平成24年3月1日から平成25年2月28日まで）におけるわが国経済は、震災復興関連の動きなどで底堅さが見られ、円高解消による企業収益の改善や景気回復への期待を先取りする形での株価の回復など一部明るい兆しが見えつつありますが、個人消費の回復まではいたっていない状況です。また、海外景気の下振れが、引き続き景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの属するカジュアルウェア市場におきましても、景気の先行きが不透明な中、天候不順などの外的要因も影響し、引き続き厳しい状態で推移いたしました。

このような環境のもと、当社の国内既存店売上高は前連結会計年度比97.7%、連結売上高は前連結会計年度比5.7%増となりました。

当社の国内ブランド別の売上では、既存ブランドとしては「レイジブルー」、「ハレ」のメンズブランドが堅調に進捗しました。また新しいブランドとしては「レピピアルマリオ」、「プリスポイント」が高い伸び率で進捗しました。一方、「アパートバイローリーズ」は店舗数を絞った結果、売上が減少しました。

当社の国内店舗展開につきましては、引き続き積極的に出退店を行い、当連結会計年度末時点での国内店舗数は、78店舗の出店、60店舗の退店の結果、785店舗（内WEBストア31店舗）となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾で8店舗の出店、4店舗の退店、香港で8店舗の出店、1店舗の退店、中国で6店舗の出店及びシンガポールで4店舗の出店の結果、当連結会計年度末時点での海外店舗数は、台湾31店舗、香港24店舗、中国17店舗、シンガポール4店舗の計76店舗となりました。

また、株式会社トリニティーの発行済株式の全てを取得したことにより同社及びその子会社である株式会社ユニベルシテを新たに連結の範囲に含めております。当連結会計年度末時点での店舗数は38店舗であります。

収益面では、生産に関連する費用の売上原価計上や在庫評価方法の厳格化の影響はありましたが、売上総利益率は58.5%（前年同期比0.2ポイント減）とほぼ横ばいとなりました。

販売費及び一般管理費は、中期経営計画（TOP15）の体制強化に伴う人件費の増加や減価償却費の増加等を主因に、前年同期比11.3%増加したことから、販管費率は50.5%（前年同期比2.5ポイント増）、営業利益率は8.0%（前年同期比2.7ポイント減）となりました。

また、特別損益につきましては、特別利益として、固定資産売却益18百万円を計上し、特別損失として、15店舗の減損損失2億17百万円を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は1,216億70百万円（前連結会計年度比5.7%増）、営業利益は97億17百万円（前連結会計年度比21.4%減）、経常利益は99億51百万円（前連結会計年度比20.5%減）、当期純利益は55億8百万円（前連結会計年度比18.9%減）となりました。

## (店舗展開の状況)

当連結会計年度におけるブランド・地域別の出退店等の状況は以下のとおりです。

ブランド・地域	店 舗 数					
	前連結会計年度末	当 連 結 会 計 年 度				当連結会計年度末
		出店等	変 更	退 店	増 減	
レイジブルー	59	7	—	△4	3	62
ローリーズファーム	148	12	2	△13	1	149
グローバルワーク	173	7	—	△8	△1	172
ジーナシス	83	3	—	△5	△2	81
ヘザー	74	4	—	△3	1	75
ハレ	33	5	—	△3	2	35
ナインボックス(注)3	25	4	—	—	4	29
アパートバイローリーズ	28	3	△1	△2	—	28
レプシムローリーズファーム(注)4	112	7	—	△8	△1	111
レピピアルマリオ	12	11	—	—	11	23
ジュエリウム	7	—	—	△3	△3	4
トゥールノ ジーナ	6	2	—	△3	△1	5
ナッシュダレック	1	—	—	△1	△1	—
ハーディーガーディー(注)5	—	1	△1	—	—	—
マリカフリッカー	—	6	—	△5	1	1
ミィパーセント	—	3	—	—	3	3
プリスポイント(注)6	4	3	1	△2	2	6
コレクトポイント(ブランド複合型)	1	—	—	—	—	1
当社合計	766	78	1	△60	19	785
(株)トリニティー(注)7	—	38	—	—	38	38
国内連結子会社合計	—	38	—	—	38	38
国内合計	766	116	1	△60	57	823
海外						
台湾	27	8	—	△4	4	31
香港	17	8	—	△1	7	24
中国	11	6	—	—	6	17
シンガポール	—	4	—	—	4	4
海外合計	55	26	—	△5	21	76
グループ合計	821	142	1	△65	78	899

- (注) 1. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含んでおります。  
2. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。  
3. ナインボックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。  
4. インメルカートは、レプシムローリーズファームに合算しております。  
5. ハーディーガーディーは、平成24年6月1日付で営業譲渡しております。  
6. ブランド複合型を除くコレクトポイントは、プリスポイントにブランド名を変更しております。  
7. (株)トリニティーは、平成24年11月1日付で連結子会社となっております。

（ブランド別売上高の状況）

国内のブランド別売上高は、「グローバルワーク」が257億52百万円（前連結会計年度比4.9%減）、「ローリーズファーム」が245億66百万円（前連結会計年度比2.6%増）、「レプシムローリーズファーム」が121億9百万円（前連結会計年度比3.8%減）、「ジーナシス」が114億69百万円（前連結会計年度比0.6%増）となっております。

また、海外においては、台湾、香港、中国で積極的に出店を推進し、海外合計の売上高は49億93百万円（前連結会計年度比42.8%増）となりました。

なお、ブランド・地域別の売上高及び構成は以下のとおりです。

ブランド・地域	当連結会計年度		前連結会計年度比 増減率（%）
	売上高（百万円）	構成比（%）	
レイジブルー	9,986	8.2	12.4
ローリーズファーム	24,566	20.2	2.6
グローバルワーク	25,752	21.2	△4.9
ジーナシス	11,469	9.4	0.6
ヘザー	9,163	7.5	5.6
ハレ	5,537	4.6	10.5
ナインブロックス（注）1	8,203	6.7	28.4
アパートバイローリーズ	3,074	2.5	△15.6
レプシムローリーズファーム（注）2	12,109	10.0	△3.8
レピピアルマリオ	2,150	1.8	48.3
ジュエリウム	615	0.5	8.2
トゥールノ ジーナ	353	0.3	1.8
ナッシュダレック	10	0.0	△96.7
マリカフリッカー	177	0.1	—
ミイパーセント	61	0.1	—
ブリスポイント（注）3	1,796	1.5	43.0
その他（注）4	60	0.0	—
当社合計	115,089	94.6	3.2
㈱トリニティー計（注）5	1,587	1.3	—
国内連結子会社合計	1,587	1.3	—
国内合計	116,676	95.9	4.6
台湾	1,359	1.1	16.6
香港	2,846	2.3	50.7
中国	588	0.5	33.4
シンガポール	198	0.2	—
海外合計	4,993	4.1	42.8
グループ合計	121,670	100.0	5.7

- （注） 1. ナインブロックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。  
 2. インメルカートは、レプシムローリーズファームに合算しております。  
 3. ブランド複合型を除くコレクトポイントは、ブリスポイントにブランド名を変更しております。  
 4. ハーディーガーディーはその他に含めております。  
 5. ㈱トリニティーは、平成24年11月1日付で連結子会社となったため、前連結会計年度比増減率は記載しておりません。

（商品部門別売上高の状況）

商品部門別売上高は、前連結会計年度に続き、全部門で順調に伸長いたしました。メンズ及び雑貨・その他が大幅に伸びておりますが、構成比においては前連結会計年度に引き続きレディースが60%以上を占めております。

商品部門別の売上高及び構成は以下のとおりです。

商品部門	期 間	当 連 結 会 計 年 度		前連結会計年度比 増 減 率 (%)
		売上高(百万円)	構 成 比 (%)	
メンズ(ボトムス・トップス)		23,846	19.6	13.0
レディース(ボトムス・トップス)		75,600	62.1	1.2
雑 貨 ・ そ の 他		22,223	18.3	15.6
合 計		121,670	100.0	5.7

（注）雑貨・その他は、ポイント引当金繰入額等を含んでおります。

## ② 平成26年2月期の業績見通し

平成26年2月期の見通しにつきましては、わが国において景気の下げ止まりの傾向が見られるものの、日本の人口減少及び少子高齢化の進行、消費者のライフスタイルの多様化、グローバル化の急速な進展など、引き続き経営環境は激しく変化していくものと思われま。

そのような情勢のなか、当社グループといたしましては、平成25年2月期よりスタートした新中期経営計画（TOP15）で掲げた経営方針の下、各施策を着実に実行し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

平成26年2月期は、近年優先的に整備してまいりました自社企画・生産体制を更に強化し、商品の差別化を推進するほか、あわせて店舗デザインの刷新や広告宣伝施策との連携等によるブランド力の向上を目指します。また、海外では、事業基盤の整備を進め、基幹ブランドを中心とした海外展開を進めてまいります。

当社は、この度、株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSとの経営統合を行い、平成25年9月より持株会社体制へ移行することとなりました。今回の経営統合及び持株会社体制に移行することにより、グループ各社の成長力を支える事業基盤及び企業文化を尊重・維持しつつ、サプライチェーンや情報システム、管理面等のシナジー効果を最大限に発揮することが可能となるほか、M&Aを含めたブランドポートフォリオの強化や海外展開の拡大が可能となります。

平成26年2月期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,340億円（前連結会計年度比10.1%増）、売上総利益794億円（前連結会計年度比11.6%増）、営業利益101億円（前連結会計年度比3.9%増）、経常利益103億円（前連結会計年度比3.5%増）、当期純利益61億円（前連結会計年度比10.7%増）を見込んでおります。業績見通しの前提としては、国内既存店売上高前年比99.4%、国内出店76店舗、退店25店舗としております。

尚、経営統合による当社連結業績への影響については、平成25年4月4日付「当社と株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSとの株式交換契約の締結、持株会社体制への移行に伴う準備会社の設立及び吸収分割契約の締結並びに当社の定款変更（商号等の変更）に関するお知らせ」に記載の通り、現段階では合理的な算定が困難であることから、上記の連結業績には含まれておりません。経営統合後の連結業績見通しについては、今後各社にて経営統合後の業績予想を検討の上、平成25年9月を目処にお知らせする予定です。

当社の店舗業態別出店計画は以下のとおりとなっております。

	店舗数	
	平成25年2月期	平成26年2月期(計画)
レイジブルー	62	65
ローリーズファーム	149	158
グローバルワーク	172	174
ジーナシス	81	84
ヘザー	75	77
ハレ	35	36
ナインブックス	29	34
アパートバイローリーズ	29	32
レプシムローリーズファーム	111	113
レピピアルマリオ	23	33
ジュエリウム	4	6
トゥールノ ジーナ	5	9
ミィパーセント	3	6
ブリスポイント	6	8
コレクトポイント	1	1
合計	785	836

- (注) 1. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含んでおります。  
 2. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。  
 3. ナインブックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。



当社のブランド別売上計画は以下のとおりとなっております。

	売上高(百万円)	
	平成25年2月期	平成26年2月期(計画)
レイジブルー	9,986	10,500
ローリーズファーム	24,567	25,300
グローバルワーク	25,753	26,900
ジーナシス	11,470	11,700
ヘザー	9,163	9,600
ハレ	5,537	5,800
ナインブロックス	8,204	8,700
アパートバイローリーズ	3,252	3,600
レブシムローリーズファーム	12,110	12,200
レピピアルマリオ	2,151	3,000
ジュエリウム	616	400
トゥールノ ジーナ	354	600
ミイパーセント	61	300
ブリスポイント	1,796	1,700
その他	71	—
合計	115,089	120,300

- (注) 1. ナインブロックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。  
2. その他は、ナッシュダレックを含んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、50億41百万円減少して331億90百万円となりました。これは主に有価証券(主に国庫短期証券)が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、56億80百万円増加して302億20百万円となりました。これは主に、のれんの計上があったこと及び投資有価証券が増加したことによるものです。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、6億39百万円増加して634億10百万円となりました。

## (負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、27億79百万円増加して242億31百万円となりました。これは主に、短期借入金や未払金及び未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、4億54百万円増加して5億81百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて、32億33百万円増加して248億12百万円となりました。

## (純資産の状況)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、25億93百万円減少して385億98百万円となりました。これは主に、自己株式を取得したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて、69億69百万円減少して183億38百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、115億65百万円(前連結会計年度比34億45百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が97億52百万円、減価償却費が48億43百万円あったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、101億84百万円(前連結会計年度比41億7百万円増)となりました。これは主に、新規出店等による有形固定資産の取得による支出が53億37百万円、新規出店等による敷金及び保証金の差入による支出が15億10百万円、連結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出が18億17百万円、少数株主への払戻による支出が8億17百万円あったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、84億30百万円(前連結会計年度比55億79百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払額が28億21百万円、自己株式の取得による支出が59億47百万円あったこと等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期
自己資本比率 (%)	59.8	65.3	60.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	150.0	115.6	117.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.0	0.0	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	14,367.9	41,048.9	1,663.2

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益分配につきましては、顧客としても株主としても満足していただけるよう、魅力あるブランドの開発、商品の提供に必要な事業への投資を行い、一層の企業価値（株主価値）の向上を図っていくと共に、株主の皆様への還元について、配当は連結配当性向30%を基準に実施してまいります。また、自己株式の取得につきましては、株主の皆様に対する利益還元のひとつと考えており、今後も株価の動向や財務状況等を考慮しながら適切且つ機動的に対応していく方針です。

当連結会計年度の期末配当金につきましては、1株当たり70円とさせていただくことといたしました。この結果、中間配当金の50円と合わせ、年間配当は1株当たり120円となります。年間の連結配当性向は49.7%となります。

なお、翌連結会計年度の配当につきましては、当連結会計年度と同額の年間120円を予定しております。

## 2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社7社（株式会社ポジック、株式会社トリニティー、株式会社ユニベルシテ、波茵特股份有限公司（台湾）、POINT HOLDING CO.,LTD（香港）、方針（上海）商貿有限公司、Singapore Point Pte.LTD）で構成され、商品販売事業を行っております。

国内における商品販売事業は、一般消費者に対するカジュアル衣料及び雑貨の販売で、当社、株式会社トリニティー及び株式会社ユニベルシテが行っております。国内の店舗は、インショップ型を主としたカジュアル専門店であり全国主要都市を中心に outlet しております。

当社は、「レイジブルー」、「ローリーズファーム」、「グローバルワーク」、「ジーナシス」、「ヘザー」、「ハレ」、「アパートバイローリーズ」、「レプシムローリーズファーム」、「レピピアルマリオ」、「ブリスポイント」などのブランドを展開しており、株式会社トリニティー及び株式会社ユニベルシテは、「バビロン」などのショップを展開しております。

海外における商品販売事業は、波茵特股份有限公司、POINT HOLDING CO.,LTD、方針（上海）商貿有限公司及び Singapore Point Pte.LTD が行っております。ブランドとしましては、「レイジブルー」、「ローリーズファーム」、「グローバルワーク」、「ジーナシス」、「ヘザー」、「ハレ」などのブランドを展開しております。

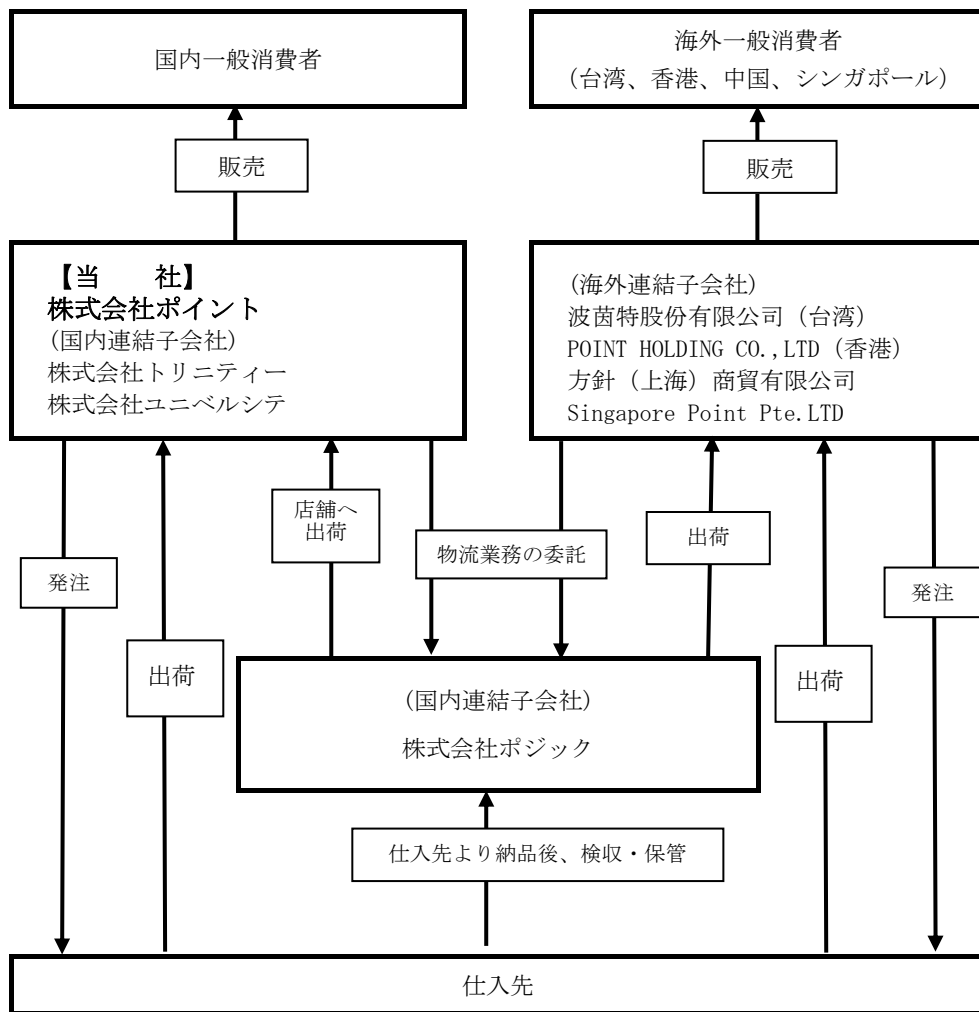
当連結会計年度末時点での当社グループの店舗数は、国内が823店舗、海外が76店舗、合計899店舗となっております。

当社は、当社取扱商品の物流業務（商品の入荷、検収、保管及び出荷）を子会社の株式会社ポジックに委託しております。多店舗展開をするうえで効率的に商品仕入を行なうため、セントラルバイイング方式により入荷した商品の検収及び保管と当社の指示によるタイムリーな商品の出荷を行っております。

主なブランド・店舗業態とその主な特徴・取扱い商品は下記のとおりであります。

名 称	主 な 特 徴	取 扱 い 商 品
 レイジブルー	アメリカンカジュアルとヨーロッパトラディショナルを融合させ、素材とディテールにこだわり、その時々々のトレンド要素を取り入れたデイリースタANDARDスタイルを提案	メンズカジュアル
 ローリーズファーム	クオリティー&リラックスをテーマに、普通の生活感覚を持った女性へ、飽きのこないベーシックアイテムと、シーズントrendアイテムをミックスした清潔なコーディネート提案	レディースカジュアル
 グローバルワーク	時代の変化に対応しながら素材の持つ、暖かさ、温もり、風合いを生かした独自のナチュラルテイストなスタイルを提案	メンズ、レディース、キッズカジュアル
 ジーナシス	素材・ディテールにこだわり、その時々々のtrendを独自の視点、感覚で企画し、ジーナシススタイルを提案	レディースカジュアル
 ヘザー	ガーリッシュでほど良くエッジのきいたアイテムをベースに、時々々のtrendをミックスし等身大のスタイルを提案	レディースカジュアル
 ハレ	東京発のストリートスタイルをベースに、モードやアートなど様々なエッセンスを加え、カジュアル&シャープなスタイルを提案	メンズ、レディース カジュアル
 アパルトバイローリーズ	シンプルなかにも程よいtrendを盛り込み、大人のかわいらしさを持ち合わせたテイストで、成長する女性にシンクロしたスタイルを提案	レディースカジュアル
 レプシムローリーズファーム	SIMPLEでありながら新しさを感じる、日常生活の中に自然に溶け込む気取らないカジュアルスタイルを提案	レディースカジュアル
 レピピアルマリオ	ちょっと背伸びをしたい女の子のためのティーンズブランド。trendを反映したアイテムとベーシックなアイテムをMIXして、ティーンズにも使いやすいスタイルを提案	レディースカジュアル
 ジュエリウム	シンプルでエッジィ、そして華やいだ雰囲気。ONもOFFも一緒に過ごす大人の女性のためのリアルクローズを提案	レディースカジュアル
 ブリスポイント	大人のためのアーバントrendMIXスタイルを、着まわしのきくベーシックアイテムとtrendアイテムで提案	メンズ、レディース カジュアル
 トゥールノ ジーナ	都会的な雰囲気にイタリアンテイストをMIXし、シルエットや素材にこだわりをもった女性らしいスタイルを提案	レディースカジュアル
 ミィパーセント	ポップでエッジのきいたデザイン。流行に敏感な女の子へ、日々変化する「今の私の気分」にふさわしい多彩なアクセサリーを提案	レディースカジュアル
 バビロン	フェミニン、エッジィ、ソフィスティケートドをキーワードにパリ、ロンドンのテイストを取り入れたセレクトショップ。それらの商品を独自の世界観で提案	レディースカジュアル

以上述べた事項を事業系統図により示すと下記の通りとなります。



(注) 海外連結子会社の商品仕入れに関しては、当社が一部仕入業務を代行して行っております。

### 3. 経営方針

#### （1） 会社の経営の基本方針

当社グループは、平成24年2月期より、新たな企業理念・ビジョンを定めております。

##### ■ 企業理念

「ワクワクするライフスタイルを創造し、“なくてはならぬ”企業となる。」

日常生活に、ワクワクを感じるシーンがあるからこそ、毎日が楽しくなる。当社グループは、そんなワクワクを創造していく、社会にとってかけがえのない存在でありたいと考えております。

##### ■ ビジョン

「ファッション市場において世界で躍進する企業・ブランドに成長する。」

当社グループは、広くファッション市場において、また日本のみならず世界において、より多くの人にワクワクを提供する存在になるために、世界で躍進する企業・ブランドに成長していきたいと考えております。

また、コアコンピタンス（DNA）として以下の4つが当社グループの競争力の源泉であると考えております。

##### ① 店頭起点

「店頭」を全ての戦略・施策の起点とします。

##### ② ファッションカジュアル

程よいトレンド、値ごろ感、確かな品質のカジュアルウェアを提供します。

##### ③ スピード経営

判断、行動の速度を上げます。

##### ④ イノベーション

新たなチャレンジを推進します。

#### （2） 目標とする経営指標

当社は、利益及び経営効率に関する経営指標を重視しております。オリジナルブランドによる差別化と利益率向上およびスピーディーな店舗展開を源泉に、経常利益や総資産当期純利益率（ROA）等の向上を目標としております。

### （3） 中長期的な会社の経営戦略

当社グループを取り巻く事業環境は、中国を中心とした経済成長に伴って生産環境が変化する一方で、アジア市場が大きく拡大し、グローバル化が急速に進展しております。また、日本市場においては人口減少や少子高齢化の進行、東日本大震災の影響によって、今後の景気動向に対する不透明感が増す一方、消費者のライフスタイルやニーズの多様化・高度化が進んでおります。

このように事業環境が激しく変化する中、平成25年2月期より開始した新中期経営計画（TOP15）については、新たに定めたビジョンである「ファッション市場において世界で躍進する企業・ブランドに成長する」の実現に向けて、新中期経営計画（TOP15）以降、持続的な成長を達成する為のブランド展開を進めるとともに、ビジネスモデルの強化によって、お客様に提供する付加価値を最大化することを目指しています。また、組織面では、組織体制の強化や人材育成を積極的に行うこととし、企業規模が拡大する中でも活力ある組織を実現する方針としました。

具体的な内容は、以下の通りです。

#### ■ 経営方針

1. ビジョンの実現に向けて、世界に通用するブランドを複数育てるとともに、海外展開、新規ブランド開発を進め、TOP15以降の持続的な成長基盤を構築する。
2. 商品企画・調達力を強化し、魅力ある店舗を実現することで、お客様に提供する付加価値を高め、ブランド力を向上させる。
3. ダイバーシティを尊重し、人材を積極的に育成・登用すると同時に、「チャレンジ」、「コミュニケーション」、「クリエイティブ」をキーワードとして、活力のある組織を実現する。

#### ■ 成長戦略

1. 基幹ブランドへ積極的に経営資源を投入し業容を拡大
2. 海外マーケットでの展開力を強化
3. 新たなマーケットの開拓によるマルチブランド戦略の進化
4. WEBストアを強化、店頭・SNS・CRMとの連携による顧客接点の拡大
5. M&A等によるグループ力の向上

#### ■ ビジネスモデルの強化

1. 商品企画力・調達力の強化
2. 広告宣伝機能の強化
3. 物流機能の強化
4. アウトレット・在庫消化機能の拡充
5. ITインフラの強化

これらの施策を着実に遂行し、新中期経営計画（TOP15）の最終年度となる平成27年2月期（連結）において、数値目標の売上高2,000億円、営業利益240億円を達成したいと考えております。



#### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループが属する衣料小売業界では、外資系企業の日本進出やアパレルメーカー等の小売業参入により、ますます競争が激化しております。また、人口減少や少子高齢化の進行、東日本大震災の影響によって、今後の景気動向に対する不透明感が増す一方、消費者のライフスタイルやニーズの多様化が進んでおります。

また、世界に目を向けると、中国を中心とした経済成長に伴って生産環境が変化する一方で、アジア市場が大きく拡大し、グローバル化が急速に進展しております。

そのような環境の中で「勝ち組」として生き残っていくためには、以下のような課題に対処していく必要があると考えております。

- ① 当社グループは、平成26年2月期に株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSと経営統合するとともに、持株会社体制へ移行いたします。経営統合後の新グループにおいて、将来の成長に向けた事業基盤を早期に確立し、日本国内はもとより海外を含めたより幅広い市場を開拓する体制を構築することが重要であると考えております。
- ② 当社グループは、前中期経営計画(TOP12)期間中に売上高1,000億円を突破し、着実な成長を続けておりますが、それに伴い社員数・組織の規模も拡大を続けており、更に今後は海外展開や経営統合により、拠点数や社員数も増加の見込です。その中で情報・ノウハウ・ナレッジを蓄積あるいは共有し、お客様にご満足いただける企業活動につなげていくことが重要であると考えております。また、企業としての成長を図ることは、すなわち企業を支える社員の成長を図ることであり、社員がステップアップしていける環境を提供し続けることが課題であると考えております。
- ③ 日本は、これから少子高齢化という、かつて経験したことのない社会を迎えます。これに伴う市場の変化やライフスタイルの変化に対応していくため、新規ブランドの開発や、雑貨の取り扱いを拡大するなど、新たなマーケットの開拓が必要であると考えております。
- ④ 今後、海外市場での展開を進めていくにあたり、商品を各拠点に安定して供給する体制を構築することが必要となってまいります。また、中国の経済成長に伴って生産コストの増加が見込まれる中、生産地の分散化を図る必要もでてまいります。このようにグローバル化に伴う市場や環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長を達成する為に商品の企画や生産、輸送をはじめとしたサプライチェーンを強化し、安定化させていくことが課題であると考えております。

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,821	11,849
売掛金	4,610	4,829
有価証券	13,498	6,499
たな卸資産	6,809	7,749
繰延税金資産	933	959
未収入金	147	864
その他	448	472
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	38,231	33,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,703	2,911
減価償却累計額	△895	△899
建物及び構築物(純額)	1,808	2,011
店舗内装設備	9,586	13,540
減価償却累計額	△4,389	△7,606
店舗内装設備(純額)	5,197	5,933
土地	2,321	2,321
建設仮勘定	36	342
その他	855	1,009
減価償却累計額	△562	△623
その他(純額)	292	386
有形固定資産合計	9,657	10,994
無形固定資産		
のれん	—	1,797
その他	645	812
無形固定資産合計	645	2,609
投資その他の資産		
投資有価証券	2,179	4,135
敷金及び保証金	10,995	11,306
繰延税金資産	957	1,013
その他	373	364
貸倒引当金	△269	△204
投資その他の資産合計	14,237	16,616
固定資産合計	24,539	30,220
資産合計	62,771	63,410

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,911	13,909
短期借入金	—	508
1年内返済予定の長期借入金	—	235
未払金	4,549	5,581
未払法人税等	1,729	2,378
賞与引当金	1,115	1,212
役員賞与引当金	—	51
その他の引当金	29	163
その他	116	191
流動負債合計	21,452	24,231
固定負債		
社債	—	31
長期借入金	—	261
役員退職慰労引当金	101	101
その他	25	187
固定負債合計	126	581
負債合計	21,579	24,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	38,139	40,826
自己株式	△2,241	△8,188
株主資本合計	41,076	37,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	792
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	△209	△17
その他の包括利益累計額合計	△106	781
少数株主持分	221	—
純資産合計	41,191	38,598
負債純資産合計	62,771	63,410

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	115,058	121,670
売上原価	47,510	50,516
売上総利益	67,547	71,154
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,275	3,295
貸倒引当金繰入額	24	△73
役員報酬	347	330
給料及び賞与	14,301	15,855
賞与引当金繰入額	1,033	1,201
役員賞与引当金繰入額	—	51
福利厚生費	2,344	2,702
地代家賃	19,778	21,846
リース料	1,553	1,032
減価償却費	3,555	4,695
その他	8,972	10,498
販売費及び一般管理費合計	55,185	61,436
営業利益	12,361	9,717
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	58	59
システム利用料収入	30	36
受取出向料	—	28
その他	82	129
営業外収益合計	185	266
営業外費用		
支払利息	0	6
コミットメントフィー	19	10
為替差損	3	—
自己株式取得費用	—	7
その他	1	7
営業外費用合計	24	31
経常利益	12,522	9,951

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	82	—
賞与引当金戻入額	580	—
役員賞与引当金戻入額	136	—
新株予約権戻入益	46	—
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	845	18
特別損失		
固定資産除却損	515	—
賃貸借契約解約損	266	—
減損損失	323	217
災害による損失	438	—
その他	2	0
特別損失合計	1,547	217
税金等調整前当期純利益	11,820	9,752
法人税、住民税及び事業税	4,812	4,630
法人税等調整額	161	△379
法人税等合計	4,974	4,251
少数株主損益調整前当期純利益	6,846	5,501
少数株主利益又は少数株主損失(△)	57	△6
当期純利益	6,789	5,508

## 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	6,846	5,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	692
繰延ヘッジ損益	2	4
為替換算調整勘定	△68	218
その他の包括利益合計	△87	915
包括利益	6,758	6,416
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,711	6,396
少数株主に係る包括利益	47	20

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	2,660	2,660
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,660	2,660
資本剰余金		
当期首残高	2,517	2,517
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,517	2,517
利益剰余金		
当期首残高	34,201	38,139
当期変動額		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,789	5,508
当期変動額合計	3,937	2,687
当期末残高	38,139	40,826
自己株式		
当期首残高	△2,241	△2,241
当期変動額		
自己株式の取得	—	△5,947
当期変動額合計	—	△5,947
当期末残高	△2,241	△8,188
株主資本合計		
当期首残高	37,138	41,076
当期変動額		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,789	5,508
自己株式の取得	—	△5,947
当期変動額合計	3,937	△3,259
当期末残高	41,076	37,816

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	121	99
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21	692
当期変動額合計	△21	692
当期末残高	99	792
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	—	2
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2	4
当期変動額合計	2	4
当期末残高	2	7
為替換算調整勘定		
当期首残高	△150	△209
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△58	191
当期変動額合計	△58	191
当期末残高	△209	△17
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△28	△106
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△77	888
当期変動額合計	△77	888
当期末残高	△106	781
新株予約権		
当期首残高	46	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46	—
当期変動額合計	△46	—
当期末残高	—	—
少数株主持分		
当期首残高	174	221
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	47	△221
当期変動額合計	47	△221
当期末残高	221	—



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
純資産合計		
当期首残高	37,330	41,191
当期変動額		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,789	5,508
自己株式の取得	—	△5,947
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△76	666
当期変動額合計	3,861	△2,593
当期末残高	41,191	38,598

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,820	9,752
減価償却費	3,702	4,843
減損損失	323	217
災害損失	438	—
固定資産除却損	515	—
受取利息及び受取配当金	△73	△72
支払利息	0	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△466	72
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△136	51
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△94	△73
売上債権の増減額(△は増加)	△154	212
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355	△167
仕入債務の増減額(△は減少)	△868	△365
未払金の増減額(△は減少)	14	969
未払消費税等の増減額(△は減少)	216	△16
その他	△148	150
小計	14,734	15,579
利息及び配当金の受取額	73	72
利息の支払額	△0	△6
災害損失の支払額	△431	—
法人税等の支払額	△6,257	△4,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,119	11,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,915	△5,337
無形固定資産の取得による支出	△299	△371
投資有価証券の取得による支出	△1	△878
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,817
少数株主への払戻による支出	—	△817
敷金及び保証金の差入による支出	△1,435	△1,510
敷金及び保証金の回収による収入	560	538
長期前払費用の取得による支出	△3	△18
その他	18	29

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,076	△10,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	212
長期借入れによる収入	—	150
長期借入金の返済による支出	—	△61
配当金の支払額	△2,850	△2,821
自己株式の取得による支出	—	△5,947
その他	—	37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,850	△8,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△842	△6,969
現金及び現金同等物の期首残高	26,151	25,308
現金及び現金同等物の期末残高	25,308	18,338

## (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (6) 追加情報

前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用しております。ただし、「その他包括利益累計額」及び「その他包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」及び「評価・換算差額等合計」の金額を記載しております。	当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当連結会計年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

当社グループは、衣料品並びに関連商品の企画・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日）		当連結会計年度 （自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日）	
1株当たり純資産額	1,724円17銭	1株当たり純資産額	1,775円28銭
1株当たり当期純利益金額	285円71銭	1株当たり当期純利益金額	241円45銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在していないため、記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在していないため、記載していません。	

（注）1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 （平成24年2月29日）	当連結会計年度末 （平成25年2月28日）
純資産の部の合計額（百万円）	41,191	38,598
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	221	—
（うち少数株主持分）	(221)	(—)
普通株式に係る連結会計年度末の純資産額（百万円）	40,969	38,598
1株当たり純資産額の算定に用いられた 連結会計年度末の普通株式の数（千株）	23,762	21,742

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日）	当連結会計年度 （自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日）
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（百万円）	6,789	5,508
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（百万円）	6,789	5,508
普通株式の期中平均株式数（千株）	23,762	22,812
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額（百万円）	—	—
普通株式増加数（千株）	—	—
（うち新株予約権（千株））	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(当社と株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSとの株式交換契約の締結及び持株会社体制への移行)

当社は、平成25年4月4日開催の取締役会において、株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSと株式交換を行うことにより経営統合し、同時に、当社グループが持株会社体制へ移行するため、当社を分割会社とする会社分割を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、株式会社トリニティアーツとの株式交換につきましては、平成24年4月4日付にて当社及び株式会社トリニティアーツとの間で締結した経営統合に向けた基本合意書に基づき検討のうえ、決定したものであります(当該基本合意は、当社の平成24年4月4日付「株式会社トリニティアーツとの経営統合に関する基本合意書締結についてのお知らせ」をご参照ください。)

なお、詳細につきましては、平成25年4月4日付で開示しております「当社と株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINE HOLDINGSとの株式交換契約の締結、持株会社体制への移行に伴う準備会社の設立及び吸収分割契約の締結並びに当社の定款変更(商号等の変更)に関するお知らせ」をご参照ください。



5. 個別財務諸表  
(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,358	10,437
売掛金	4,288	4,066
有価証券	13,498	6,499
たな卸資産	6,441	6,786
前払費用	291	291
繰延税金資産	905	868
未収入金	151	862
その他	301	290
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	36,197	30,068
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,670	1,816
減価償却累計額	△696	△615
建物(純額)	974	1,201
構築物	47	31
減価償却累計額	△29	△23
構築物(純額)	17	7
店舗内装設備	9,151	11,648
減価償却累計額	△4,170	△6,836
店舗内装設備(純額)	4,981	4,812
機械及び装置	3	3
減価償却累計額	△2	△2
機械及び装置(純額)	1	0
工具、器具及び備品	685	747
減価償却累計額	△507	△509
工具、器具及び備品(純額)	177	238
土地	1,701	1,701
建設仮勘定	36	51

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
有形固定資産合計	7,890	8,013
無形固定資産		
ソフトウェア	541	618
その他	10	77
無形固定資産合計	552	696
投資その他の資産		
投資有価証券	2,179	4,110
関係会社株式	821	3,709
関係会社長期貸付金	1,640	1,496
長期前払費用	171	65
繰延税金資産	1,059	1,049
敷金及び保証金	10,779	10,304
その他	8	8
貸倒引当金	△269	△204
投資その他の資産合計	16,391	20,541
固定資産合計	24,834	29,250
資産合計	61,032	59,318
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,692	13,311
未払金	3,988	4,627
未払法人税等	1,682	2,135
未払消費税等	318	294
賞与引当金	1,095	1,160
役員賞与引当金	—	51
その他の引当金	29	136
その他	107	119
流動負債合計	20,914	21,838
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
その他	8	9

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
固定負債合計	109	110
負債合計	21,024	21,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金		
資本準備金	2,517	2,517
資本剰余金合計	2,517	2,517
利益剰余金		
利益準備金	16	16
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	9	9
別途積立金	12,500	12,500
繰越利益剰余金	24,442	27,060
利益剰余金合計	36,968	39,586
自己株式	△2,241	△8,188
株主資本合計	39,905	36,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99	786
繰延ヘッジ損益	2	7
評価・換算差額等合計	102	793
純資産合計	40,007	37,370
負債純資産合計	61,032	59,318

## (2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	111,561	115,089
売上原価		
商品期首たな卸高	6,252	6,441
当期商品仕入高	46,539	48,483
合計	52,791	54,925
他勘定振替高	7	—
商品期末たな卸高	6,441	6,786
売上原価合計	46,342	48,138
売上総利益	65,219	66,950
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,207	3,145
貸倒引当金繰入額	24	△69
役員報酬	347	308
給料及び賞与	13,960	15,170
賞与引当金繰入額	1,021	1,154
役員賞与引当金繰入額	—	51
福利厚生費	2,307	2,592
地代家賃	18,849	19,966
リース料	1,552	1,024
減価償却費	3,449	4,420
その他	8,789	9,933
販売費及び一般管理費合計	53,509	57,697
営業利益	11,710	9,252
営業外収益		
受取利息	52	47
受取配当金	117	119
システム利用料収入	30	36
受取出向料	21	74
受取ライセンス料	23	47
その他	70	81
営業外収益合計	316	407
営業外費用		
支払利息	—	2
コミットメントフィー	19	10
自己株式取得費用	—	7
その他	0	5
営業外費用合計	19	25
経常利益	12,006	9,634

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	82	—
賞与引当金戻入額	580	—
役員賞与引当金戻入額	136	—
新株予約権戻入益	46	—
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	845	18
特別損失		
固定資産除却損	507	—
賃貸借契約解約損	266	—
減損損失	323	193
災害による損失	515	—
その他	2	—
特別損失合計	1,615	193
税引前当期純利益	11,237	9,458
法人税、住民税及び事業税	4,636	4,340
法人税等調整額	46	△321
法人税等合計	4,683	4,019
当期純利益	6,553	5,439

## (3) 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	2,660	2,660
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,660	2,660
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	2,517	2,517
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,517	2,517
資本剰余金合計		
当期首残高	2,517	2,517
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,517	2,517
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	16	16
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	16	16
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金		
当期首残高	9	9
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	9	9
別途積立金		
当期首残高	12,500	12,500
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	12,500	12,500

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	20,739	24,442
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,553	5,439
当期変動額合計	3,702	2,618
当期末残高	24,442	27,060
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	33,265	36,968
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,553	5,439
当期変動額合計	3,702	2,618
当期末残高	36,968	39,586
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△2,241	△2,241
<b>当期変動額</b>		
自己株式の取得	—	△5,947
当期変動額合計	—	△5,947
当期末残高	△2,241	△8,188
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	36,202	39,905
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,553	5,439
自己株式の取得	—	△5,947
当期変動額合計	3,702	△3,328
当期末残高	39,905	36,576

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	121	99
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21	686
当期変動額合計	△21	686
当期末残高	99	786
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	—	2
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2	4
当期変動額合計	2	4
当期末残高	2	7
評価・換算差額等合計		
当期首残高	121	102
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18	691
当期変動額合計	△18	691
当期末残高	102	793
新株予約権		
当期首残高	46	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46	—
当期変動額合計	△46	—
当期末残高	—	—
純資産合計		
当期首残高	36,371	40,007
当期変動額		
剰余金の配当	△2,851	△2,820
当期純利益	6,553	5,439
自己株式の取得	—	△5,947
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△65	691
当期変動額合計	3,636	△2,637
当期末残高	40,007	37,370